

談話室 ひこばえ倶楽部

産経新聞 令和2年(2020年)3月23日(月)

子供のため実力ある教員に

大学生 佐藤瑞希 20

令和元年度の教員採用試験で、小学校教員の競争率が8年連続で減少し、過去最低になったという記事

は、「競争率が低下している」というのは、私たちの合格率が上がるので、良いことだと感じてしまった」と話していました。

教員を採用する68自治体の約半数が3倍以下で、2倍を切る自治体もありました。

正直、教員志望の私自身も、初めは競争率低下を喜んでいました。

でも記事を改めて読み直すと、問題もあることに気が

ついてきました。

競争率の低下は当然、教員の質の低下につながります。教員全体の能力が低下すれば、子供たちへの教育そのものが低下するという懸念が生じます。

個人レベルでは、しっかりと学び、準備したうえで、適切な競争率の中で、合格したいと考えています。

(奈良県大和郡山市)

※無断転載不可